

食料品製造業者が有する情報の一括クラウド管理・活用システム構築事業

総事業費 1,465,100円

事業者名：株式会社ソフモ（所在地：宮崎県宮崎市）

事業の内容

事業目的・概要

- 現在、食料品製造業者は商品や資材、原料等の情報を、紙である台帳と社内の固定された場所にあるパソコンで管理している。
- そのため、商品や資材の受発注、棚卸し等の業務の際に、社員同士または紙やパソコンを介しての接触が避けられない状況である。
- ポストコロナ時代の課題解決実証事業するには、社内に行かなくとも情報の確認が可能となるよう、以下の取り組みを実施する。
 - ①クラウド上で情報を一元的に管理できるシステムを構築する。
 - ②社内だけでなく自宅や外出先からも情報共有を可能とする。

実証フィールド

- 株式会社かぐらの里（西都市）

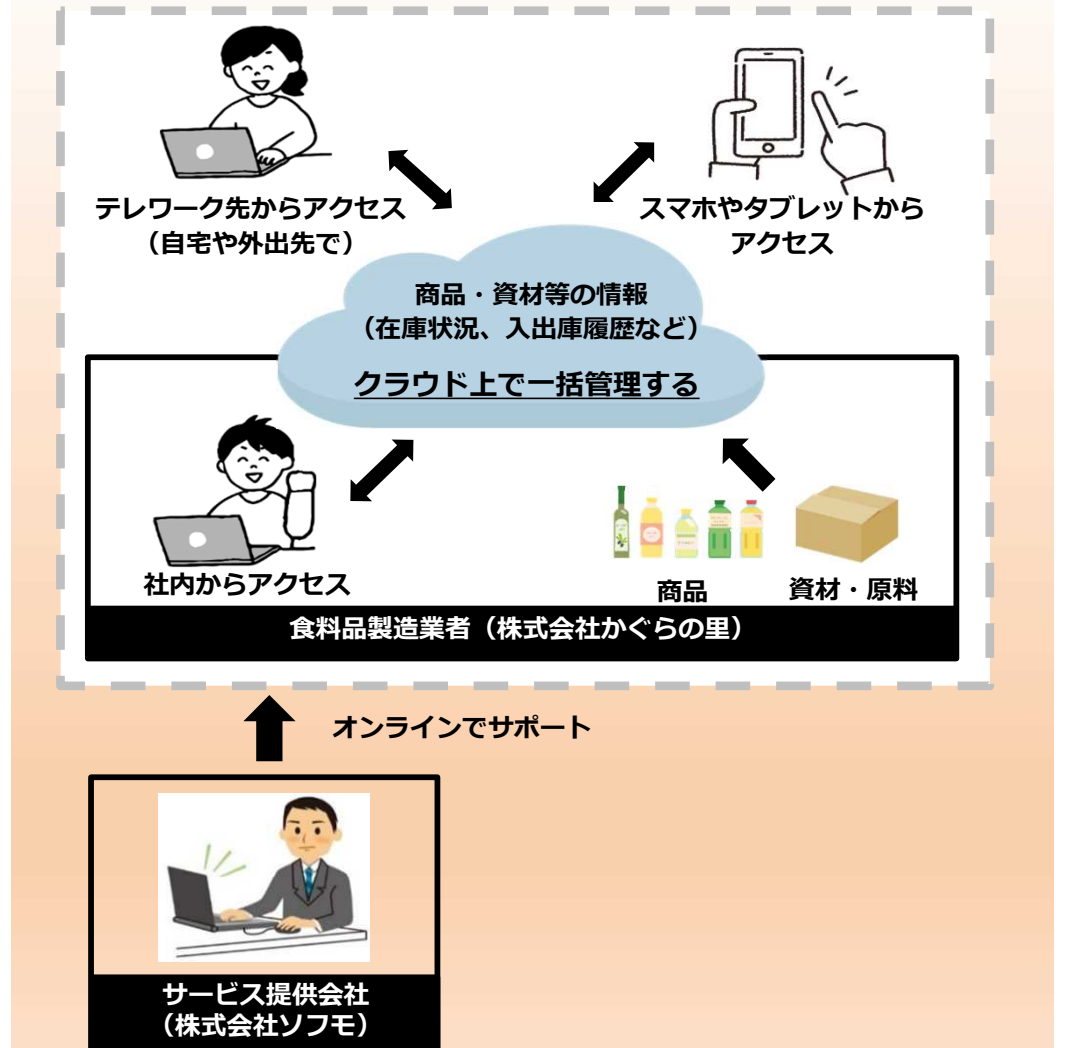
本事業の目標

- ①社員の接触機会の削減。
- ②場所を選ばない営業活動の実現。
- ③テレワーク実施による働き方改革への挑戦。
- ④オンラインサポートによるサービス提供主体の負担軽減。

本事業終了後の展開

- ①食品バイヤー向け商品情報サイト「foodoc」の登録企業への横展開。
- ②その他の県内食料品製造企業への横展開。
- ③受発注システムを連携し食品バイヤーからの売上増加を図る。

事業スキーム等



～ここが新しい～

商品だけでなく、資材・原料も管理できる小規模事業者向けシステム